## 地域公共交通確保維持改善事業·事業評価総括表 (地域公共交通調査等事業)

平成 年 月 日 北陸信越運輸局

## 評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画推進事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果
		②事業実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果
富市市通議	駅・バス停別利用促進啓発事業 ・藤の木循環バス停周辺住民を対象に計4,996世帯に 事前アンケートを配布。 ・回答のあった世帯のうち、希望のあった368世帯中 324世帯を戸別訪問した。 ・戸別訪問では、藤の木循環バス停専用の時刻表・路 線図、公共交通利用啓発ツール、バスの乗り方、お得 情報などを提供するとともに、公共交通を利用してな い理由など公共交通の利用についてヒアリングを実 施。 ・訪問した世帯を対象に事後アンケートを行い、254世 帯から回答が得られた。戸別訪問したことにより、回答 者の17%がバスの利用機会が増加した。 [参考:昨年度の事業効果] 対象地区周辺のバス停利用者数(ICカード(定期・SF) の乗降者数)が約940人/月の増となった。<平成28・ 29年度の4~8月比較>	A 計画通り適切に実施された。	・町内会の協力体制を一層強化していく。事業実施に対する理解、事前アンケートの配布協力など。 ・可能な限り交通事業者主体の実施方法へとシフトしていく。(規模やスケジュールなど)・ターゲットを絞ったツール作成の検討。例えば高齢者。	協議会における事業評価結果の②については自己評価のとおりである。なお、地域公共交通網形成計画に掲げる「公共交通1日平均利用者数の富山市人口当たりの割合の増」の目標の達成に向けて、③の事業の今後の改善点を具体化するとともに、地域一体となって地域公共交通網形成計画に位置付けられた各事業が進められることを期待する。

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果
		②事業実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果
富市市通議	日的な子自の時間の単元で使用する子自教材(3~6) 年生用)、指導テキスト(3年生用)の修正と印刷製本	A 計画通り実施する予定。	・教材については3月中に成果品を作成する 予定。 ・市内全小学校にアンケート調査を実施中で あり、調査結果をもとに課題を分析し全校で の授業実施に向けた取り組みを行う。	の小学校に対してヒアリングを行うこ となどにより、未導入の要因を掘り下

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果
		②事業実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果
富市市通議山都交協会	協議会開催 9月に協議会を開催し、計画に基づく事業評価を実施 した。	A 計画通り実施する予定。	・3月に2回目の協議会を実施予定。	協議会における事業評価結果の②については、自己評価のとおりである。なお、9月に開催した協議会における評価・検証結果を踏まえた地域公共交通網形成計画に係る今後の改善点を、③の事業の今後の改善点において明らかにすることが必要である。また、地域公共交通和形成計画に掲げる「公共交通1日平均利用者数の富山市人口当たりの割合の増」の目標の達成に向けて、地域公共交通網形成計画に位置付けられた事業を評価・検証するとともに、必要に応じて地域公共交通網形成計画の見直しが行われることを期待する。